

青森県経済統計報告

平成18年9月1日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成18年8月1日現在）…………… 1

県人口	1,424,061人（対前月 440人 減少）
自然動態	217人減少（出生者数 914人、死亡者数 1,131人）
社会動態	223人減少（転入者数 1,930人、転出者数 2,153人）

2 本県の経済動向

（1）経済概況

本県経済は、生産面や消費面の一部に改善の動きがみられるものの、全体としては、なお足踏み状態が続いている。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 平成18年6月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が91.9で、前月比1.0%の上昇となり、2ヶ月連続で前月を上回った。また、原指数は95.3で、前年同月比1.1%の上昇となり、2ヶ月連続で前年同月を上回った。 … 2
- (2-2) 雇用情勢 平成18年6月の定期給与は224,888円で前年同月比4.7%減となった。総実労働時間は163.9時間で前年同月比0.5%減、所定外労働時間は7.9時間で前年同月比5.9%減となった。平成18年7月の有効求人倍率(季節調整値)は0.42倍で、前月より0.02ポイント下回った。 … 3
- (2-3) 物価 平成18年7月の青森市消費者物価指数は、平成17年を100として100.1となり、前月と比べ0.5%の下落、前年同月と比べ0.1%の上昇となった。 … 4
- (2-4) 個人消費 平成18年6月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが140億4百万円で前年同月比2.3%減、既存店ベースが3.0%減でいずれも7ヶ月連続で減少となった。平成18年7月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,444台で、前年同月比0.5%の増となり、2ヶ月連続で前年を上回った。 … 5
- (2-5) 住宅建設 平成18年7月の新設住宅着工戸数は787戸で、前年同月比14.2%減となり、4ヶ月ぶりに前年を下回った。 … 6
- (2-6) 企業倒産 平成18年7月の企業倒産件数は12件で、2ヶ月連続で前年を下回った後、前年同月比同数となった。 … 6

（3）景気動向指数（平成18年6月分）…………… 7

先行指数	44.4%（4か月連続で50%を下回った）
一致指数	33.3%（3か月連続で50%を下回った）
遅行指数	33.3%（6か月ぶりに50%を下回った）

1 青森県の推計人口(平成18年8月1日現在)

【概況】

平成18年8月1日現在の本県推計人口は、1,424,061人で、前月に比べ440人の減少となった。

○自然動態

出生者数が914人、死亡者数が1,131人で、217人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,930人、転出者数が2,153人で、223人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数			社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数	自然増減数			
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17. 8. 1	1,440,005	681,879	758,126	-0.050%	-716	-227	844	1,071	-489	1,906	2,395
17. 9. 1	1,440,226	681,995	758,231	0.015%	221	-258	1,007	1,265	479	2,513	2,034
17.10.1	1,436,628	678,989	757,639	-	-542	-149	942	1,091	-393	1,738	2,131
17.11.1	1,436,285	678,775	757,510	-0.024%	-343	-259	931	1,190	-84	1,777	1,861
17.12.1	1,435,625	678,406	757,219	-0.046%	-660	-366	863	1,229	-294	1,323	1,617
18. 1. 1	1,434,907	678,029	756,878	-0.050%	-718	-418	790	1,208	-300	1,184	1,484
18. 2. 1	1,433,662	677,352	756,310	-0.087%	-1,245	-685	851	1,536	-560	1,119	1,679
18. 3. 1	1,432,666	676,827	755,839	-0.069%	-996	-470	754	1,224	-526	1,217	1,743
18. 4. 1	1,426,674	673,583	753,091	-0.418%	-5,992	-393	925	1,318	-5,599	4,191	9,790
18. 5. 1	1,425,905	673,208	752,697	-0.054%	-769	-356	818	1,174	-413	4,422	4,835
18. 6. 1	1,425,242	672,768	752,474	-0.046%	-663	-271	984	1,255	-392	1,643	2,035
18. 7. 1	1,424,501	672,250	752,251	-0.052%	-741	-279	910	1,189	-462	1,345	1,807
18. 8. 1	1,424,061	671,951	752,110	-0.031%	-440	-217	914	1,131	-223	1,930	2,153

7月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平9.7	10.7	11.7	12.7	13.7	14.7	15.7	16.7	17.7	18.7
自然動態	出生者数	1,250	1,299	1,122	1,101	1,196	1,140	1,069	993	844	914
	死亡者数	995	968	987	990	1,073	1,093	1,118	1,127	1,071	1,131
	自然増減数	255	331	135	111	123	47	-49	-134	-227	-217
社会動態	県外からの転入者数	2,174	2,214	2,209	2,131	2,080	2,232	2,089	1,921	1,906	1,930
	県外への転出者数	2,145	2,384	2,209	2,222	2,136	2,353	2,453	2,674	2,395	2,153
	社会増減数	29	-170	0	-91	-56	-121	-364	-753	-489	-223

※1 平成2、7、12年は国勢調査人口(確定値)。

※2 平成17年8月1日から平成17年9月1日までの人口は平成12年国勢調査人口(確定値)を基礎に、平成17年11月以降の人口は平成17年国勢調査人口(要計表による人口)を基礎に推計している。

※3 平成17年10月1日現在の人口は、平成17年国勢調査人口(要計表による人口)を用いているため、9月1日現在推計人口に9月中の増減数を加えた数値とは一致しない。

※4 増減数は、平成2、7、12年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※5 算出方法

県の推計人口=前月の人口+自然増減数(出生者数-死亡者数)+社会増減数(県外からの転入者数-県外への転出者数)

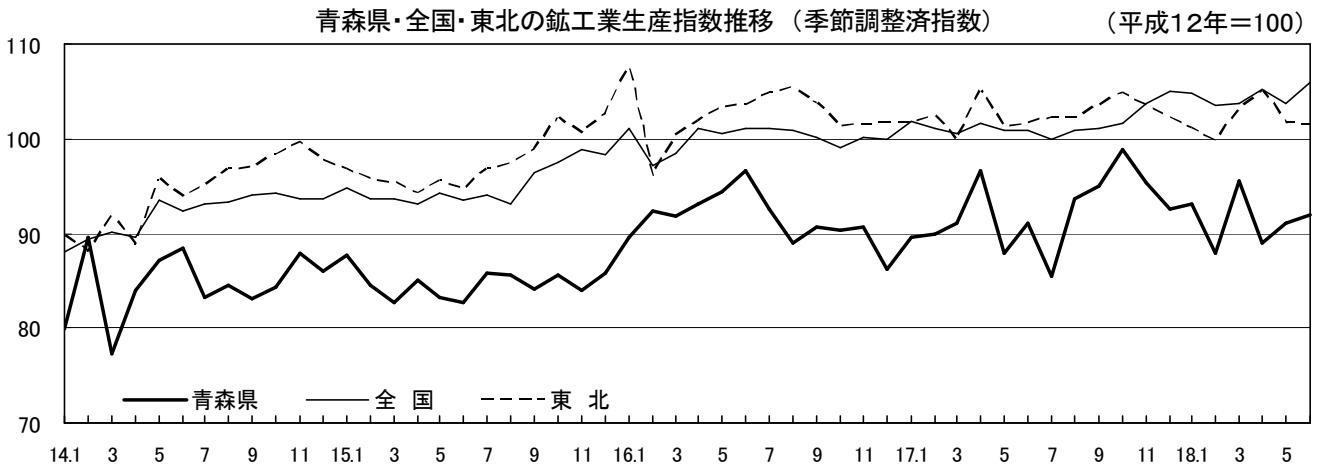
2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

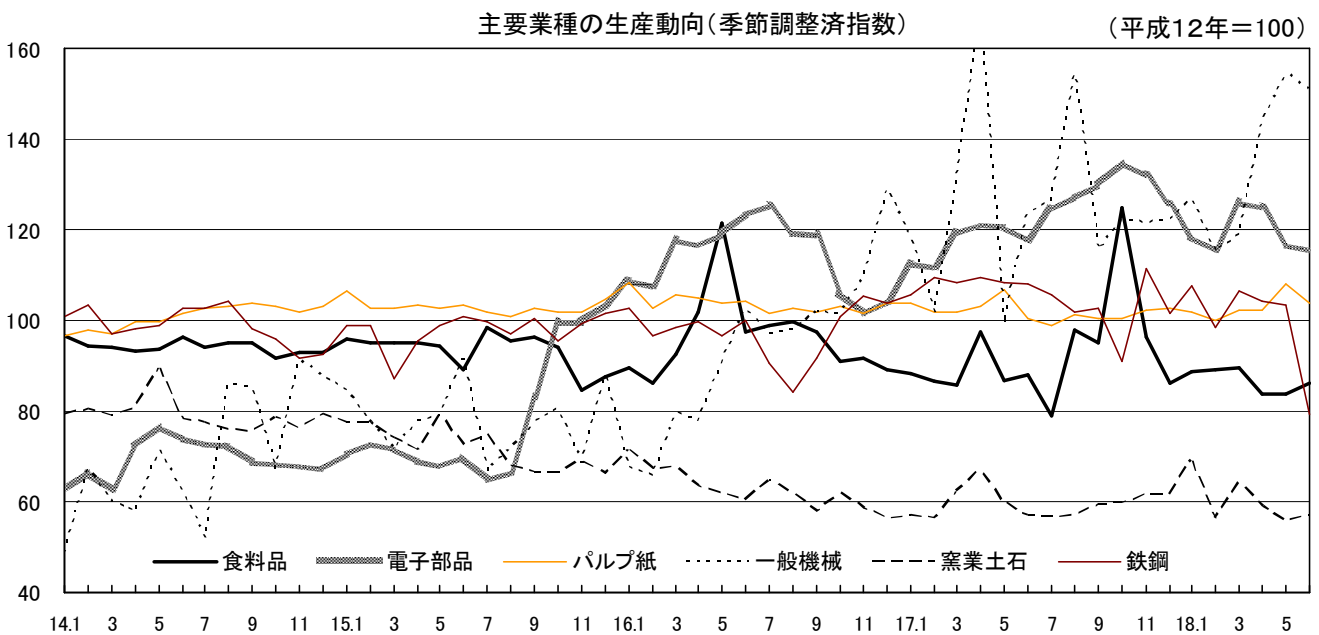
平成18年6月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が91.9で、前月比1.0%の上昇となり、2ヶ月連続で前月を上回った。また、原指数は95.3で、前年同月比1.1%の上昇となり、2ヶ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、電気機械工業、食料品工業、プラスチック製品工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、鉄鋼業、輸送機械工業などが低下し、鉱工業全体では1.0%の上昇となった。



◎業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 +1.0%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
電気機械工業	11.5	28.2	化学工業	-36.3	-71.0
食料品工業	2.7	20.3	鉄鋼業	-23.5	-43.6
プラスチック製品工業	12.8	5.6	輸送機械工業	-28.2	-12.8
窯業・土石製品工業	2.5	2.8	パルプ・紙・紙加工品工業	-4.2	-12.8
繊維工業	2.1	2.1	一般機械工業	-2.3	-7.4



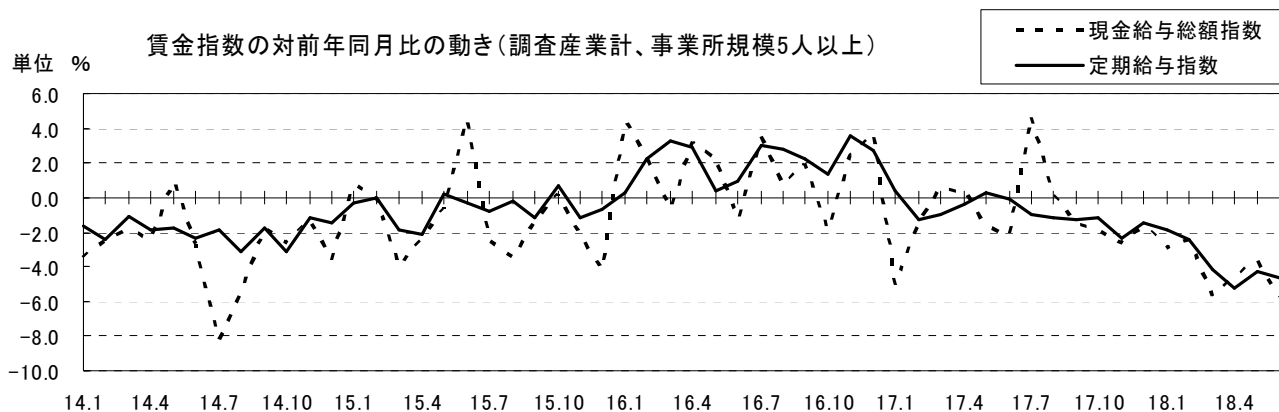
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成18年6月の定期給与は224,888円で定期給与指数(平成12年=100)では94.7となり、前年同月比4.7%減(現金給与総額373,097円、現金給与総額指数129.3、前年同月比5.8%減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は82.1となった。

所定外労働時間は7.9時間で、所定外労働時間指数では91.9となり、前年同月比5.9%減となった。

平成18年7月の有効求人倍率(季節調整値)は0.42倍で、前月より0.02ポイント下回った。



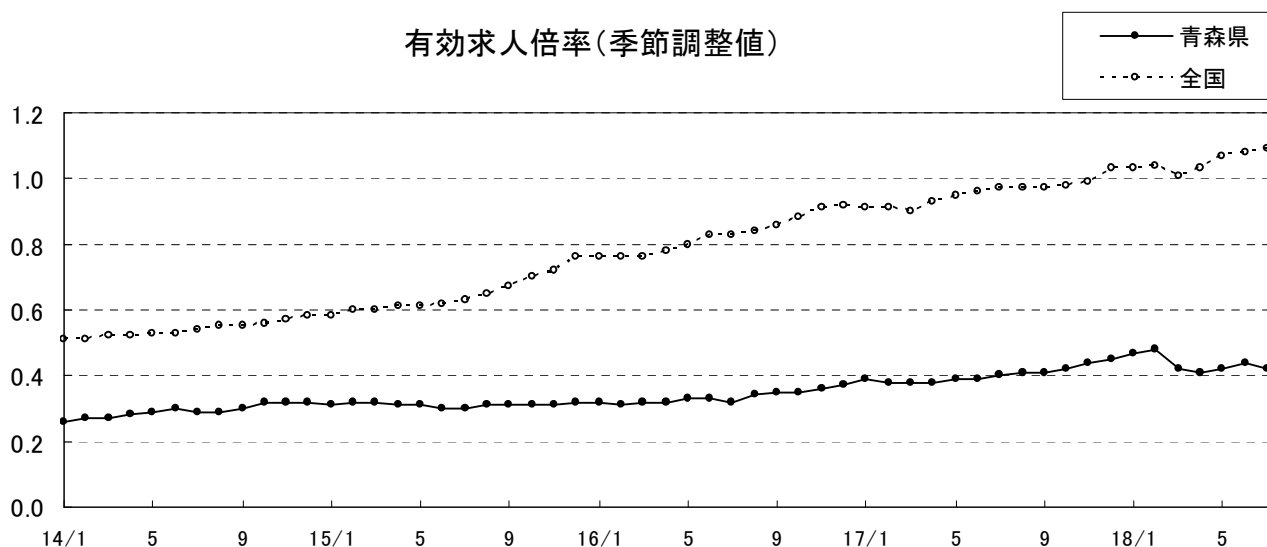
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	373,097 円	474,541 円	129.3	134.3	-5.8 %	1.0 %
定期給与	224,888 円	273,979 円	94.7	97.1	-4.7 %	0.0 %
特別給与	148,209 円	200,562 円	—	—	—	—
総実労働時間	163.9 時間	157.0 時間	103.5	102.0	-0.5 %	0.3 %
所定内労働時間	156.0 時間	146.5 時間	104.1	101.7	-0.2 %	0.2 %
所定外労働時間	7.9 時間	10.5 時間	91.9	107.1	-5.9 %	2.9 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料: 県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料: 青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

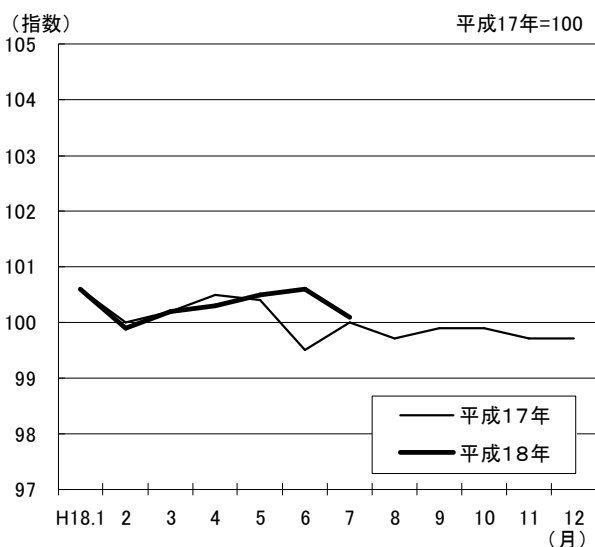
平成18年7月の青森市消費者物価指数（平成17年=100）は、総合指数が100.1となり、前月と比べ0.5%の下落、前年同月と比べ0.1%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は100.0となり、前月と比べ0.3%の下落、前年同月と同水準となった。

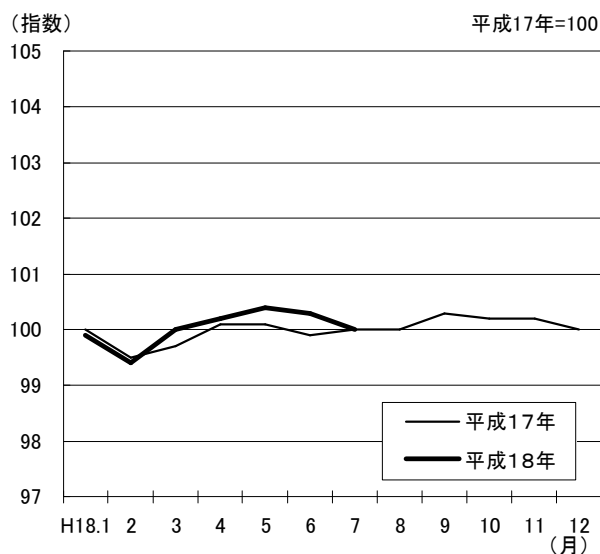
総合指数が前月と比べ0.5%の下落となった内訳を寄与度でみると、被服及び履物、住居などの下落が要因となっている。

総合指数の前年同月比が0.1%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道などの上昇が要因となっている。

総合指数の動き



生鮮食品を除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成17年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・ 家事用品	被服 及び履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	娯楽	養 老	諸 雑 費
当月指数	100.1	100.0	100.5	100.0	103.1	98.6	106.7	93.8	96.8	99.4	101.4	100.6	99.1	100.9	
前月比 (%)	▲ 0.5	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 2.1	▲ 0.8	▲ 1.1	0.6	▲ 4.1	0.2	0.3	0.0	0.4	0.7	
寄与度	▲ 0.50	▲ 0.28	▲ 0.25	▲ 0.09	▲ 0.12	▲ 0.16	▲ 0.12	0.02	▲ 0.17	0.01	0.03	0.00	0.04	0.04	
前年 同月比 (%)	0.1	0.0	0.5	▲ 0.2	3.3	▲ 1.3	6.6	▲ 5.3	▲ 1.0	▲ 0.5	1.1	0.4	▲ 0.8	0.7	
寄与度	0.10	0.00	0.42	▲ 0.06	0.19	▲ 0.27	0.66	▲ 0.16	▲ 0.04	▲ 0.02	0.12	0.01	▲ 0.08	0.04	

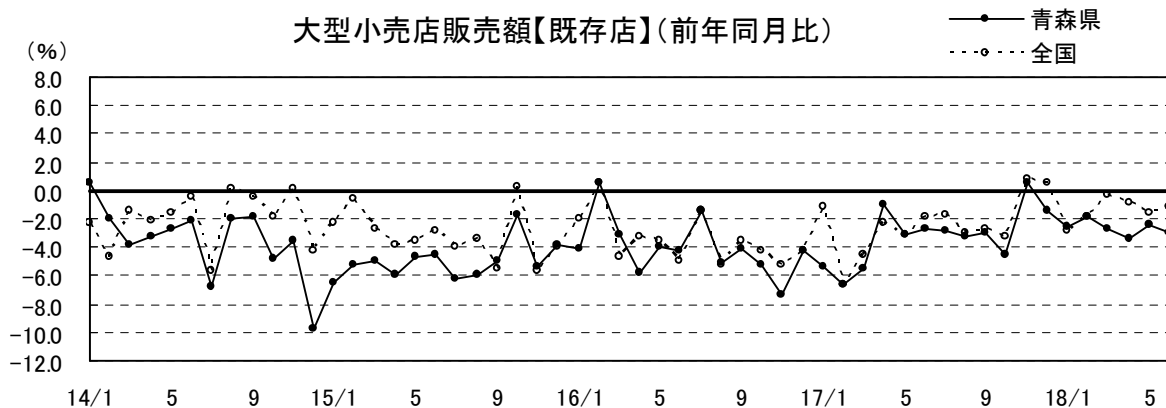
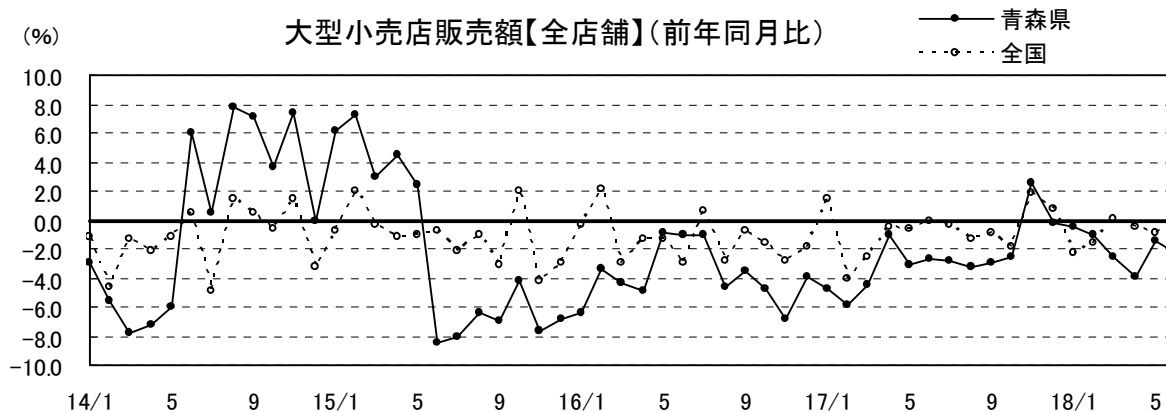
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」（速報）

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

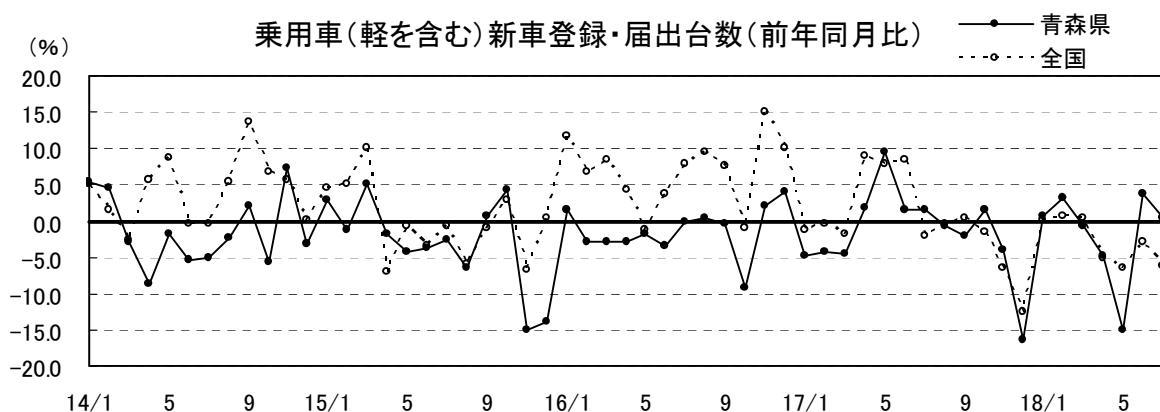
平成18年6月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが140億4百万円で前年同月比2.3%減、既存店ベースが3.0%減でいずれも7ヶ月連続で減少となった。百貨店は天候不順等から衣料品が振るわず、飲食料品も伸び悩んだことから4ヶ月連続で前年を下回った。スーパーは家庭用品に一部動きが見られたものの、主力の飲食料品を初めとして全体に低調な動きが続いており、7ヶ月連続で前年を下回った。

平成18年7月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,444台で、前年同月比0.5%の増となり、2ヶ月連続で前年を上回った。普通車が5ヶ月ぶりに、軽自動車が2ヶ月連続でプラスとなったことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

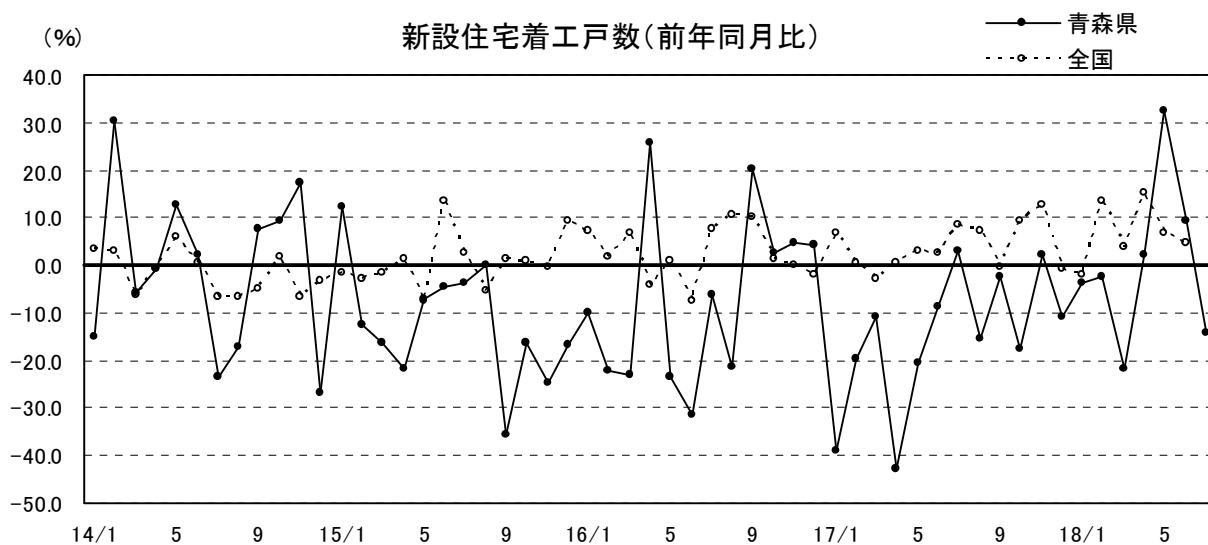
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

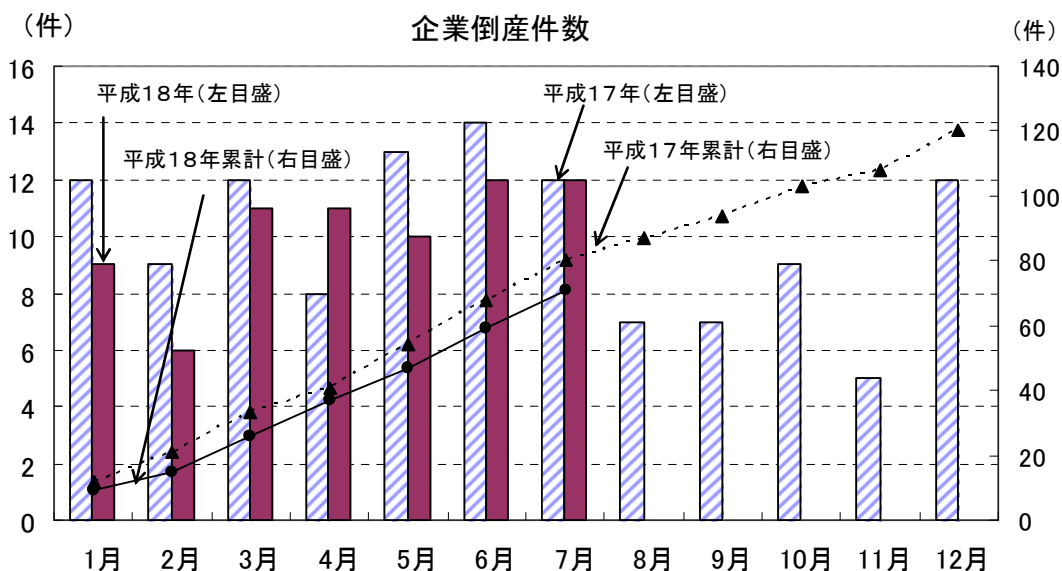
平成18年7月の新設住宅着工戸数は787戸で、前年同月比14.2%減となり、4ヶ月ぶりに前年を下回った。持家、貸家、分譲住宅がいずれも減少したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 企業倒産

平成18年7月の企業倒産件数は12件で、2ヶ月連続で前年を下回った後、前年同月比同数となった。



資料：(株)東京商工リサーチ青森支店・八戸支店（負債総額1,000万円以上）

(3) 青森県景気動向指数

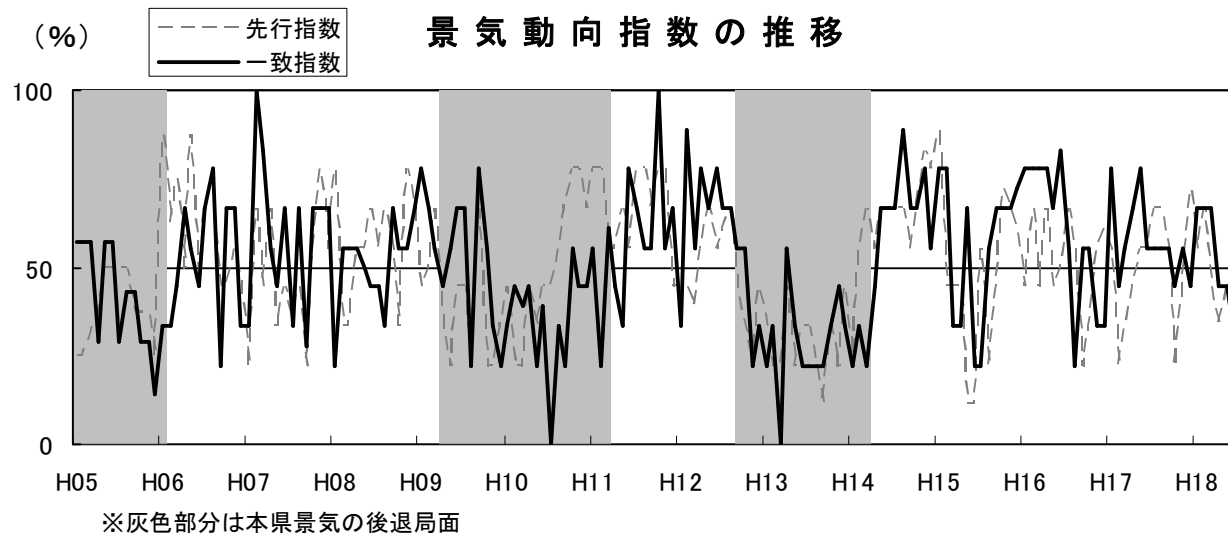
平成18年6月の青森県景気動向指数は、先行指数44.4%、一致指数33.3%、遅行指数33.3%となった。

先行指数は、4か月連続で50%を下回った。

一致指数は、3か月連続で50%を下回った。

遅行指数は、6か月ぶりに50%を下回った。

6月の一致指数は、消費および雇用関連指標等がマイナスとなったことから、50%を下回った。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中4指標がプラス）			
入職率（製造業）	5か月ぶり	乗用車新車登録届出台数	6か月ぶり
新設住宅着工床面積	3か月連続	生産財生産指数	3か月連続
建築着工床面積	2か月連続	新規求人倍率（全数）	5か月連続
企業倒産負債額	2か月連続	所定外労働時間指数（全産業）	4か月連続
		中小企業景況D I	2か月連続
一致系列（9指標中3指標がプラス）			
電気機械生産指数	4か月連続	大型小売店販売額（既存店）	3か月連続
東北自動車道IC利用台数	6か月連続	鉱工業生産指数	6か月連続
日銀券月中発行高	3か月連続	大口電力使用量	2か月ぶり
		有効求人数（全数）	4か月連続
		総実労働時間数（全産業）	3か月連続
		海上出入貨物量（八戸港）	2か月連続
遅行系列（6指標中2指標がプラス）			
勤労者世帯家計消費支出（実質）	5か月連続	常用雇用指数（製造業）	2か月ぶり
青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	6か月連続	1人平均月間現金給与総額	6か月ぶり
		単位労働コスト（製造業）	2か月連続
		輸入通関実績（八戸港）	4か月ぶり

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」